

タックルの見本を子どもたちに示すサントリーの畠山健介選手
＝瑞穂市穂積、朝日大



一流のタックル伝授

トップリーグ選手 小中生にラグビー教室

朝日大

バローグループとサントリーグループの共同企画によるラグビー教室が3日、瑞穂市穂積の朝日大で行われ、トップリーグのサントリーサンゴリアスの選手8人が一流の技を伝授した。

介選手も、実技を交えながら指導。パス練習をする子どもらに「パスを右に出すのか、左に出すのか、コミュニケーションを取る」ことが大切」などコツを教えた。

(富樫一平)

競技の面白さを子どもたちに伝えようと、定期的に開催。県のラグビースクールで学ぶ小中学生や、一般応募の小中学生計約100